

### 言った一言が実現に動き出す

【神崎利一の質問】  
「以前に京成成田駅と成田空港駅の間に駅を造り、団地の造成計画もあったが、」今度、建設される附属病院への交通手段や、住宅地の候補として地域を活性化する事業として、京成電鉄と話し合いをしてほしいと要望。

【回答】京成電鉄は、現在は計画をしていないとの返事でした。

御挨拶



平成の年は、東日本大震災や各地に於いて、自然災害による人命や財産を失うなど、痛々しいことがあまりにも多すぎました。

新しい元号の誕生では、災害の少なく皆さんが幸せで過ごせるよう祈る一人です。「乙亥」の年は、核に通ずる字であり、曲がりくねっていつ何かが起こると教えています。今年、市議会議員の選挙が行われます。過去4期16年皆様にお世話になりました。議会にて活動することができました。「政は正なり」を掲げ頑張ります。今後ともよろしく願います。

成田市議会議員 神崎利一

平成27年12月定例会の一般質問

【神崎利一の質問】松戸市においては、医療センターの建設により新駅構想があり、大規模な住宅構想があり成田市と似ているが改めて新駅構想をお尋ねいたします。



【関根副市長答弁】議員からご紹介があった通り、松戸市に於いては総合医療センターを核とした新駅の構想で、さらに大規模な宅地開発も予定していると聞いております。この成田の現状とよく似ているわけですが、本市にとりましては、さらにそれに加えて空港の機能の強化という大きな人口増の要因も含んでいるわけです。そういう意味では、やはり成田市としては都市計画マスタープランあるいは立地適正計画等々、コンパクトな街づくりという、長期的な見通しを立てた中で、しっかりと整えていかなければならない。そのような認識のもとで今回の吉倉地先の新駅構想、さらには空港、あるいは新しい病院への周辺の開発というような意味でのこの事業を位置づけたものでございますので、ぜひとも今後の

成田のまちづくりにとつても必要な事業であると私は認識しております。今後とも地域の皆様のご協力を得ながら、この事業をしつかりと進めてまいりたいと考えております。

【小泉市長の3月議会での所信表明】  
「成田空港の更なる機能強化や大学院を核とした医療関連産業の集積など、新たな開発需要や人口増加に適切に対応していくための都市機能や住環境の整備が図られるよう、吉倉地区周辺のまちづくりの実現に向けて合意形成に努めていく」と 議場で強調する。



新駅構想に続く建設中の医療福祉大学附属病院

【総務常任委員会】3月議会にて調査報告を受ける。その後には、都市部において実施することになる。

【平成31年度当初予算】  
実現に向けた事業を前提とし1250万円で基本構想策定費を予算化。  
・事業区域の権利調査  
・権利者の意向調査ほか

## 空港問題は永遠の課題と思う

騒音地域の方々は、誰もが住み続けていたい気持ちは持ち続けています。私も住み続けて69年。機能強化の議論が続けられ、深夜12時までの運用時間も秋のダイヤから実施されることになった。対応も遅れがちである。約束事は実施されるまでに必ず実行されなければならない。B滑走路の防止地区A・B滑走路防止地区に挟まれた谷間地区での内窓工事は新たに防止法第一種区域指定の告示は、早急に行われなければならない。地元代表として引き続き騒音地区住民が今後も住み続ける生活環境の安全に取り組みます。現時点では、開発規制などで地域づくりが進まない。空港づくりは空港内だけでなく、周辺の空港会社の土地活用も含め、空港周辺の地域づくりは「特区制度」の活用を積極的に生かし規制緩和を検討すべきと強く思い各方面に働きかけます。特に空港周辺の道路整備は千葉県だけでなく、空港会社を主軸に進めなければならぬと特に思う。常に課題と立ち向かわなければならない。

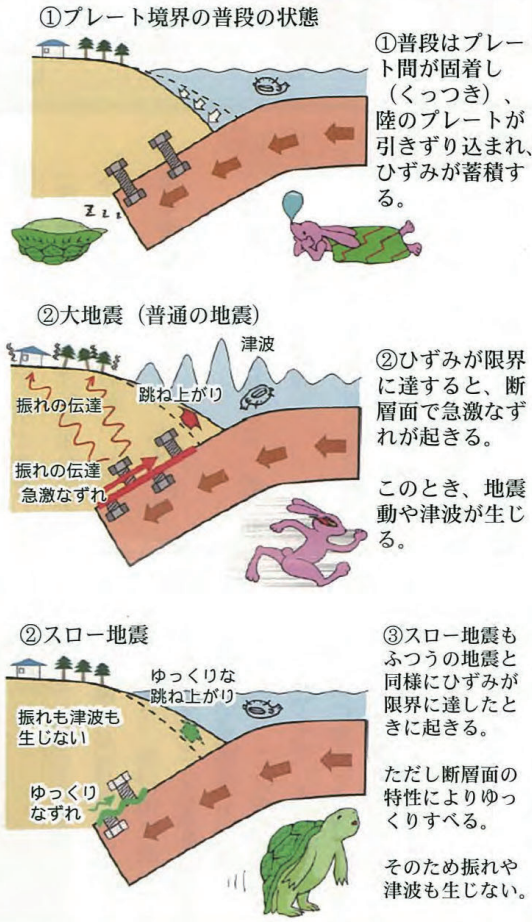
空港敷地と隣接の取香区と防音壁





# いざという時のために災害に備えよう

【質問】災害を完全に予測することや回避することはできないが、日ごろからいつでも対応できる準備をしておけば、被害を最小限にすることはできます。スロースリップ現象は、地下の岩盤蓄積されたエネルギーが断層の滑り運動で大地震の前触れともいわれる。地質調査会の発表では、**千葉県の震度6以上の地震発生率は85%**とされ、現に千葉県を震源とする6月の回数は32回と急激に増加傾向となっているが、市の対応についてお尋ねしたい。



【回答】震度階級別に配備態勢を整備し、被害の情報収集、関係機関との連絡調整、被害が発生した場合の対応や指定避難場所を開設するなどいつ地震が発生しても対応できる体制を整えている。

## 災害に備える

強風・突風が吹く「春の嵐」に注意

3月から5月にかけて、急速に発達した温帯低気圧による風。自然災害は、人間の力で完全に防ぐことはできません。様々な自然災害の脅威に、あらかじめ備えること。災害対策は、行政ができること、地域社会ができること、個人ができることがそれぞれあります。

**神崎利一は、今回も「自民党公認」です。**  
**ハッピーオレンジ運動**  
**（自民党女性局の活動団体）**

相談窓口の電話番号は覚えやすく、児童相談所は全国共通で**189（いちばやく）**の番号です。児童虐待防止運動や「リベンジボルノ防止法」をつくり、被害防止のための啓発や加害者を処罰できる体制を整え、誰もが安心して暮らせる社会に向けて取り組んでいます。

**なんでも相談できます。**



**伝統芸能が結ぶ縁**

高円宮妃殿下が総裁を務める、地芝居サミットが成田市で開催されたのが縁で、奄美大島の島唄（代表松山美枝子）が、毎年行われる成田伝統芸能祭りに参加していただいている。一昨年より30名の方が参加しております。パニラ・エアラインが成田空港と奄美大島航路を結んでいる縁もあります。奄美市の朝山市長さんとも何度もお会いすることがあり、今後も成田市との友好を続けたいとのことです。今年も成田市伝統芸能祭りに、大島紬で大勢参加予定です。

**成田市消防本部高度救助隊発足式**  
**3月18日 大柴消防署にて**  
（総務常任委員長として出席）

高度救助隊とは大規模な災害や事故に対応する為に高度な救出能力を言う。

隊員14名で発足式  
地中音響探知機で測定

- 【現職】**
- 成田市議会総務常任委員会委員長
  - 成田市議会空港対策特別委員会
  - 成田市議会議会運営委員会委員
  - 成田空港騒音対策地域連絡協議会常任理事
  - 成田空港騒音対策地域連絡協議会遠山部会常任理事
  - 千葉県立成田西陵高等学校同窓会会長
  - 成田グリーンライオンズクラブ会員

